

TOYO TIRE 株式会社 寄贈

## 横断幕「国史跡 有岡城跡」を現地に設置

### 1. 概要

この度、伊丹市に本社を構える TOYO TIRE 株式会社からの寄贈により、有岡城跡史跡公園に横断幕を設置します。

荒木村重やその居城である有岡城が、テレビドラマや映画で取り上げられるのに合わせ、現在、本市では官民連携した「村重プロジェクト」を推進しています。そのような中での横断幕の設置は、JR 伊丹駅前にある国史跡「有岡城跡」を市民だけでなく、市外からの駅利用者等に対して広く周知できると期待しています。

### 2. 横断幕設置

設置日時：令和8年5月22日(金)午後1時から \*雨天時25日(月)に順延

感謝状贈呈は、5月26日(火)午後2時から現地にて関係者のみで実施

設置場所：有岡城跡史跡公園 北側（伊丹市伊丹1） \*駐車場はありません

横断幕サイズ・材質：W6,000×H1,000mm、メッシュターポリン



設置イメージ

#### 〈村重と有岡城の今昔〉

村重は織田信長から摂津国一国を任せられ、天正2年(1574)伊丹城を攻め、伊丹へ入城。摂津国の中心であり、古代より交通の要衝である伊丹を居城とし、「有岡城」と改名。そして、城下町を持つ惣構(そうかまゑ)の城に大改造した。翌年からは摂津国の領主とし「摂津守」と名乗り、信長の下で活躍するが離反。主君信長との戦いの末、天正7年11月に落城。以後、池田氏が入城したが、秀吉政権下には廃城となり、豊臣直轄領になった。江戸時代以降、元城下町は江戸積酒造業を基幹産業として発展し、城跡は「古城」と呼ばれた。

明治時代、鉄道の敷設や道路建設により城跡の東半分以上を失う。昭和50年からの発掘調査で残りの城跡が見つかり、市は国鉄宝塚線複線電化に伴う伊丹駅前開発計画を大きく変更し、城跡の保存を決定。昭和54年に国史跡に指定(昭和63年に追加指定)されたことから史跡公園として整備し、平成6年から「有岡城跡史跡公園」として共用を開始した。